

  <p>世界へのプレゼントになろう</p> <p>RI会長 K. R. ラビンドラン</p>	<p style="text-align: center;">2015-2016年</p> <h1 style="text-align: center;">海南東ロータリークラブ</h1> <h2 style="text-align: center;">ROTARY CLUB OF KAINAN EAST</h2> <p style="text-align: center;">RI District 2640 Japan</p>
---	---

第 1864 回例会

平成 28 年 2 月 22 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

ゲスト卓話 社会保険労務士 田部 美穂 様

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. ゲスト紹介 社会保険労務士 田部 美穂 様
4. 出席報告
 - 会員総数 48 名 出席者数 28 名
 - 出席率 58.33 % 前回修正出席率 66.67 %

5. 会長スピーチ 会長 阪口 洋一 君

みなさん今日は、ご出席ありがとうございます。

本日のお客様は、社会保険労務士の多部 美穂さんをお迎えいたしております。多部様ご多忙の中海南東ロータリークラブにお出でいただきありがとうございます。後ほど卓話よろしくお願いたします。



一昨日、親睦活動委員長の前田さん、副委員長の重光さん、職業奉仕委員長の山畑さんと私の4人で4月17日の家族例会の下見に九度山周辺に行ってきました。大河ドラマの影響でしょうか、あちこちに真っ赤な六文銭のノボリが立っており雨天にもかかわらずかなりのお客さんが来られておりました。メインの九度山・真田ミュージアムは3月13日のオープンで現在工事中でした。家族例会に多くの方のご参加をお待ちしております。

今月は平和と紛争予防／紛争解決月間です。世界に目を向けると中東やアフリカで様々な紛争で苦しい思いを強いられている多くの人たちがいます。ロータリーには世界を変えたいと願う人々を支援するロータリー世界平和フェロシップと言う組織があります。ロータリー平和フェロー(学友)は、生涯、仕事や奉仕活動を通じて国内外での協力、平和、紛争解決を推進するリーダーです。フェローは、国際関係、

行政学、持続可能な開発、平和研究、紛争解決の分野の修士号の取得、あるいは平和と紛争研究における専門能力開発プログラムの修了証の取得の、いずれかを選択することができます。元フェロー(学友)の進路はさまざま、草の根で活動する地元の非政府組織、各国政府、軍事、警察をはじめ、国連、世界銀行、国際移住機関、米州機構といった二カ国間組織や国際組織でも活躍しています。

平和構築に専念する500名を超える学友たちの世界的ネットワークは発展の一途をたどっており、ロータリー平和センター・プログラムの卒業生はこのネットワークのサポートを受けることができます。ロータリー財団とロータリアンは、ロータリー平和センター・プログラムとロータリー財団を通じて世界理解と平和を実現し、人々の間に寛容と協力の精神を広めるよう努めています。ロータリー平和フェロシップは、全世界8校の大学に設置された7つの「平和と紛争解決における国際問題研究のためのロータリー平和センター」のいずれかで、修士課程または専門能力開発修了証プログラムに参加する資金を援助するものです。世界の8大学の内に日本の国際基督教大学が含まれています。

本日は時間の関係で概要だけをご紹介いたしましたが、機会があれば詳しい内容をお話しさせていただきますと思います。

6. 幹事報告 幹事 横出 廣 君

○メイクアップ 2月17日 有田2000RC 寺下 卓 君

7. ゲスト卓話 社会保険労務士 田部 美穂 様

本日は、ゲストにお招きいただきありがとうございます。社会保険労務士の多部美穂と申します。今回は仕事以外の話ということで、フラメンコをご紹介いたします。

「フラメンコ」というと赤いバラの花を口にくわえ、頬の横で手をパパンと打ち鳴らすイメージがあ



2月は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：阪口 洋一 幹事：横出 廣 SAA：千賀 知起

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : info@kainaneast-rc.jp

りますが、実際は異なります。

フラメンコはスペインの舞踊で様々な種類の踊りがありますが、中でもセビジャーナスという踊りは日本でいう云わば、盆踊りのようなもので、皆さまもポルトヨーロッパなどでご覧になったことがあるかもしれません。フラメンコでは様々な道具を使います。パリージョ（カスターネット）、コルドベス（帽子）、アバニコ（扇子）、バストーン（杖）等です。特に靴は音を鳴らすため、つま先と踵に細かい釘を何本も打ってあります。これらの道具を使いながら踊るのは特に大人になってからは難しいと感じますが、少しずつでも成長を感じることができるため中々やめられません。



華やかで情熱的なフラメンコの世界を皆さまも機会がございましたら一度ご覧ください。

本日はご清聴ありがとうございました。

次回例会

第 1865 回 平成 28 年 2 月 29 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 (株) 紀の洲コンサルティング

代表取締役 濱田智司 様



ニコニコ・BOX

前田 克仁 君 本社工場及び事務所を海南市木津 300 に移転中です。新住所での業務開始日は 3 月 22 日(火)からです。
山名 正一 君 ゲストの多部 美穂 様をご紹介します。

Rotary NEWS

弾圧の獄中生活、人を許すことの大切さ

2012-13 年度ロータリー平和フェロークイーンズランド大学 ナイニング・コウ・コウ
私が母国ビルマ（現ミャンマー）でほかの学生たちと、民主化、人権尊重、社会正義を訴えるデモに参加し始めたのは 1988 年のことです。その 4 年後に私は逮捕され、尋問キャンプで足かせを架けられ、殴られ、眠ることも許されずに 2 カ月間過ごしました。目隠しをされた上に、頭に袋をかぶせられていたため、昼夜の区別がつかないまま、同じ尋問を何度も何度も繰り返され、まさにジョージ・オーウェルの『1984 年』そのものの体験でした。その後、特別な法廷で弁護士もなしに裁判を受け、そのまま刑務所に送られました。勉強の機会がまったくない刑務所で、私は釈放後海外に留学することを夢見ました。ある看守を言いくるめ、

英語の辞書と経済学の本を手に入れことができたので、監房の壁に穴をあけて入れておき、その上に仏様の絵をかけて隠しました。昼は眠り、夜になると勉強をする毎日でした。ところがある夜、本を隠さないまま眠りに落ち、それが見つかってしまったのです。飼犬用の監房に移動された私は、また足かせを架けられ、犬のような生活を強いられました。看守が私の名前を呼ぶたびに、「ワンワン」と鳴いて、顔を床に押し付けろと言われ、看守の顔を見ることは許されませんでした。看守が床に放った食べ物を、手を使わずに食べ、水も床に置かれた皿から飲みました。



刑務所のそのような状況に耐え切れず、中には頭から壁に激突して自殺する人もいました。しかし私は、このまま意地を張り続け、敵対的な態度をとっていき残ることはできない、現実を受け入れ、精神状態をコントロールしなければ発狂してしまうと気づくようになりました。そうしなければ、いずれは冷血な刑務所長の前で死に、彼らに負けたことになる。でも、私たちを監視していた看守は皆、教育のない、体制に身を任せた人たちです。そこで私は、彼らに話しかけ、自分たちは、人殺しなどではなく、勉強をする権利、民主国家を築く権利を求めている学生に過ぎないことを説明し、マーチン・ルーサー・キング牧師や、マハトマ・ガンジーなどの例を挙げて説得しようとしてみました。反応を見せない看守が多かったにもかかわらず、私は声を上げて説得を続けました。すると何人かの看守が反応するようになり、彼らとは少しずつ親しくなると、最後には親友になることができました。入所後 6 年 8 カ月で、私は釈放されました。今は、海外留学の夢がかない、キャンベラのオーストラリア国立大学で学業に励んでいます。民主化運動に参加して刑務所に送られた人たちで、博士号を取る機会を得られたのは私だけだと思います。

1988 年の民主化運動で亡くなった人は、3,000 人を超えると言われていています。それ以外に、私のように民主化と人権尊重を訴えて刑務所送りになった人は何千人もおり、今では「88 年の世代」と呼ばれています。あの「犬小屋」のような経験は、決して忘れることはできません。しかし、看守たちを許すことができるまで、私たちが真に前進することはできないと考えています。怒りを抱えたまま民主国家を築くことはできません。互いに許し合い、正義について語り合うだけでなく、報復と正義を混同しないことも必要です。私にとって最も良い「見返し」の方法があるとしたら、それは母国の制度の変革を支援できる人間となることです。いずれは国に戻り、主任政策アドバイザーになって、政治的腐敗、貧困、社会正義、そしてなによりも平和に取り組みたいと考えています。また、あの醜い歴史が二度と繰り返されることがないよう、あの尋問キャンプを資料館にできればと願っています。